

食道がんの手術を受けられる患者様へ

患者氏名 @PATIENTNAME 様(ID: @PATIENTID) 生年月日:@PATIENTBIRTH2 性別:@PATIENTSEX 説明日:

説明者:

	入院日	手術前日	手術当日	
			手術前	手術後
食事	・手術前日の夕食まで食事が出ます。 食事は状態に応じて飲み込みやすい食形態に変更可能です。		(:)以降は 飲んだり食べたりできません。	・術後は医師の許可があるまで、飲んだり食べたりすることは出来ません。 ・腸の動きを落とさないため、手術中、腸に直接栄養剤を注入するための管を入れます。 ・術後に管からの栄養剤が開始になります。
安静	・制限はありません。		・手術室へは歩いて向かいます。歩くことが難しい場合は、看護師が車椅子で介助をします。	・ベッド上安静です。 ・寝返りや足を動かすことは可能です。
検査	・看護師が検温を行います。	・採血があります。		・2時間おきに検温を行います。
内服	・医師の指示で薬を中止または変更する場合があります。入院時にお薬手帳と共に看護師が一旦お預かりをします。	・医師から継続の指示があった薬のみ内服して頂きます。	・麻酔科医師より指示があった薬剤のみ内服して頂きます。	
点滴	・特にありません。	・前日の夕方、休日の場合は手術当時の朝に点滴の針を入れます。	・点滴が開始になります。	・手術後は24時間の持続の点滴を行います。 ・痛み止めや抗生剤の点滴をしていきます。 痛みがある場合は看護師に遠慮なくお伝えください。
その他	・手術のオリエンテーションを行います。 【必要書類】 ①手術同意書 ②輸血同意書 ③身体拘束の同意書 ・手術に必要な物品の確認をします。 ①T字帯 ②ティッシュ1箱 ③歯ブラシ・コップ ④その他 	・麻酔科医師の診察があります。 ・口腔外科の診察があります。 ・手術室看護師による術前訪問があります。 ・リハビリ室で術前の身体の動きの状態を確認します。 ・手術、術後に必要な物品の回収を行います。 ・臍のゴマ取り後にシャワーに入ってください。 ・夜眠れない場合は眠剤を使用できますので、看護師に声をかけてください。 	・朝起きたら、歯磨きをしてください。男性の方は髭剃りをしてください。女性の方はお化粧はしないでください。 ・入れ歯、コンタクト、かつら、時計、アクセサリ、ヘアピンなど外せるものはすべて外してください。 ・手術着・T字帯を着用して手術室に向かいます。着替えは看護師がお手伝いします。 ・ご家族様を3北病棟待合室にご案内します。 	・医師から手術の結果について、ご家族様に説明をします。 ・術後は集中治療室(3北病棟)への入室となります。 ・術後は首や胸、鼻、お腹に管が入っています。 ・尿が自然に流れるよう尿管が入っています。 ・背中に痛み止めの管が入っています。 ・酸素マスクを装着します。 ・血栓予防のため両足にマッサージ機を装着します。 ・心電図と酸素の濃度を測る測定器をつけます。 

状況に応じて予定が変更になる場合がございます。ご不明な点などありましたら、お気軽にお尋ねください。

東京歯科大学市川総合病院 2025.3.1

食道がんの手術を受けられる患者様へ

患者氏名 @PATIENTNAME 様(ID: @PATIENTID) 生年月日:@PATIENTBIRTH2 性別:@PAT 説明日:

説明者:

	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目	術後5日目	術後6日目
食事	<ul style="list-style-type: none"> ・医師の許可があるまでは水分・食事はとれません。 ・お腹に入っている管から看護師が栄養剤を注入します。栄養剤の量は、身体の状態に合わせて少しずつ増やしていきます。栄養剤の影響で下痢をしたりお腹が痛くなることがあります。何かあれば医師や看護師に声をかけてください。 					
安静	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師と一緒に、徐々に動く練習を行っていきます。ベッドごと身体を起こす、座る、立つ、足踏みと段階をおって動いていきます。 ・歩行が安定するまでは看護師が付き添います。 ・リハビリ科が介入し術後のリハビリを行っていきます。 ・痛みがある場合は、痛み止めが使えるので我慢せず声をかけて下さい。 			<ul style="list-style-type: none"> ・安静度に制限はありません。 ・積極的に歩行するようにしてください。 ⇒動くことで、肺を広げる、痰を出しやすくなる、筋力低下の防止、腸の動きを良くするなどの効果があり、術後合併症予防になります。 ・歩行時に、管が邪魔になる場合は看護師へ声をかけてください。 		
検査	<ul style="list-style-type: none"> ・採血/レントゲンがあります。 ・看護師による検温を行います 					<ul style="list-style-type: none"> ・採血/レントゲンがあります。
内服	<ul style="list-style-type: none"> ・医師の許可があるまでは口からの内服は出来ません。 ・お腹に入っている管から、看護師が薬の注入を行います。 					
点滴	<ul style="list-style-type: none"> ・24時間の点滴を行います。 ・手術中に背中に入れた管から痛み止めの点滴を注入します。痛いときはご自身で痛み止めを追加できるので使用方法を説明します。 					
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・状態が安定し次第、集中治療室から元の病棟へ戻ります。 ・1日4回(6時、12時、18時、0時)血糖測定を行います。 ・痰を出しやすくするため、1日3回(6時、14時、20時)吸入を行います。 ・手術の影響で声が出にくくなったり、呼吸がしにくくなったり、飲み込みが悪くなったりします。痰や唾液は飲み込まずにティッシュに出しましょう。息が苦しかったり、痰が出しにくかったり、むせる場合は看護師へ伝えて下さい。 ・術後の状態に応じて、手術中から入っている管が順に抜けていきます。栄養剤を注入するお腹の管以外は、問題が無ければ医師の判断で手術後1週間程度で抜いていきます。 					

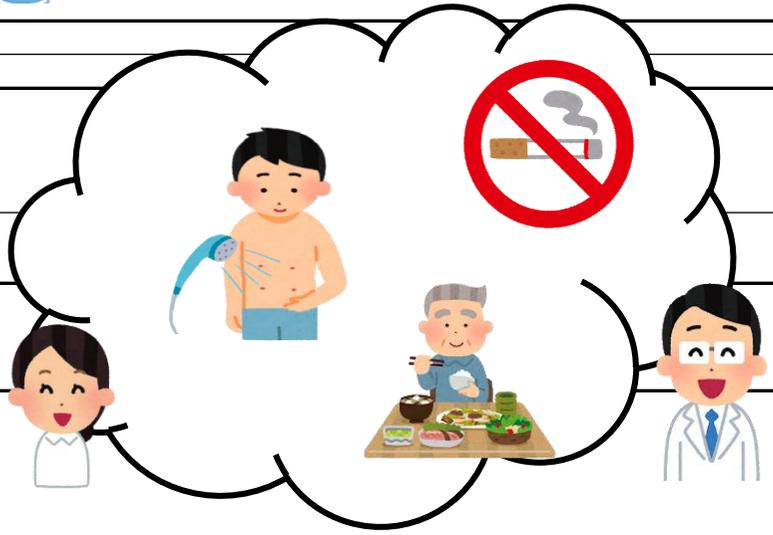
状況に応じて予定が変更になる場合がございます。ご不明な点などがありましたら、お気軽にお尋ねください。

東京歯科大学市川総合病院 2025.3.1

食道がんの手術を受けられる患者様へ

患者氏名 @PATIENTNAME 様(ID: @PATIENTID) 生年月日:@PATIENTBIRTH2 性別:@P 説明日:

説明者:

	術後7日目～14日目	術後15日目～退院日
食事	<ul style="list-style-type: none"> ・飲み込みの機能を見る嚥下造影検査後、医師の許可が出たら飲水・食事が開始となります。 ・飲み込みの状況に応じて医師が食形態の変更をしていきますので、病院食以外は食べないでください。 ・場合によっては水分にはトロミをつけます。 ・食事の摂取状況に応じて、お腹に入っている管からの栄養剤の量を減らしていきます。脱水予防のために積極的に水分をとるようにしてください。 	
安静	・特に制限はありません。	
検査	<ul style="list-style-type: none"> ・状態に応じて、飲み込みの機能を見る嚥下造影検査を行います。 ・採血やレントゲン検査は、お身体の状態に応じて適宜行います。 	
内服	・医師の許可が出たら内服は口から飲んで頂きます。	
点滴	・術後7日目の10時で24時間持続の点滴は終了予定です。(状態次第で点滴が継続となる場合があります。)	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養を注入するためにお腹に入っている管は、入れたまま退院となります。栄養剤の投与が終了した後から、退院後の管の管理方法について看護師から説明を行います。 ・シャワーに入れるようになったら、傷をご自身で洗えるように洗い方について看護師から説明を行います。 	

状況に応じて予定が変更になる場合がございます。ご不明な点などありましたら、お気軽にお尋ねください。

東京歯科大学市川総合病院 2025.3.1